

# 「常に前向き、そこに夢と希望がある」 「生徒の安全第一」プロジェクト 2012

学校法人明星学園理事長

同学園浦和学院高等学校校長 小沢 友紀雄

浦和学院高等学校は常に生徒の安全第一を優先しています。浦学ふぁみり～の一員である生徒たちは言わば私たちの可愛い大切な子供たちです。親が子供を心配するのは当たり前ですが、心配の種は尽きません。自転車事故が起こらないかと心配し、病気や運動中の怪我で心配し、兄弟喧嘩を心配し、地震や災害が起こると心配し、他校に突然死が発生すると当校では大丈夫かと心配し、大きなストレスがある事件が起こるとしっかり生きていけるかと心配し、朝ご飯はきちんと食べて登校しているかと心配します。

親（学校）は子供（生徒）が健全に育つことを注意深く見守っているのです。これはどのクラスや部活動でも全く同じです。しかし、残念なことに新入生で一学期が終わるころまでに、ごく一部ではありますが学校に馴染まない生徒が必ず出現して転退学となるものがあります。また、学校生活が荒れていて他人に迷惑や悪い影響を及ぼしている生徒が転退学することもあります。これらの子供たちは心配する親を見捨てて去って行った感じで、親としての力の足りなさを思い知らされると同時に、正直止むを得ないと感じる部分もあります。しかし、普段頑張っている生徒が辛い目にあっているのを見れば、これを応援するのが当然であり「頑張る仲間をみんなで応援」するのが家族です。一人ひとりの生徒を理解し、信頼し、安全第一を考えることが出来てこそ「浦学ふぁみり～」だと思っております。親は子供たちの明るい笑顔をみるのが、何よりも嬉しいことなのです。

本年になり「浦学データバンクプロジェクト」が新たに発足しました。前向きアンケート調査を基盤とする、高校としては他に見られないほどの大型のデータバンクシステムで、転退学に至る生徒たちやトラブルを起こす生徒たちを如何に早期に発見して、卒業まで頑張るように指導するかの参考になるデータ分析などを目指す壮大な構想で、「非卒業率（当校では決して悪くありません）改善プロジェクト」の推進にもつながるものです。また、生徒の安全第一を考慮したプロジェクトとして、従来の生徒指導に加えて精神面からサポートする「ピアッコールーム」、「自転車講習・免許制」、「防災・安全対策プロジェクト」、「怪我対策プロジェクト」、



「栄養改善プロジェクト」「健康科学センター推進プロジェクト」などなどがすでに具体的にスタートしています。また、本年度からクラスの担任制に加えて「グループサポートプロジェクト」が進行しております。担任の先生にも個性があり、利点欠点もあるので、グループ支援で生徒の指導に当たることで弱点を補おうとするもので、その成果に期待しております。

こうしたプロジェクトのほかに、当校の活性化と発展を目指す幾つかのプロジェクトが進んでいます。例えば「国際教育・国際交流プロジェクト」、「東大（国公立大）プロジェクト」、「グローバルコース推進プロジェクト」、「部活動活性化プロジェクト」、「浦学ふぁみり～・仲間意識推進プロジェクト」、「転退学改善推進プロジェクト」、「東日本大震災石巻交流プロジェクト」、「問題解決型教育・研究発表プロジェクト」、「基礎学力向上推進プロジェクト」、「教職員研修プロジェクト」などが推進されています。

今や当校は問題解決型思考で、「常に前進、そこに夢と希望がある明るく開けた学園」を目指して着実に進んでいると信じています。そして新しく出来た公園「ラルク」にある、浦学ふぁみり～の絆の永遠のシンボル「浦学の泉」が、ふぁみり～の皆さんに親しまれることを願っています。

